



子育てコラム

この季節、冬枯れした景色の中で、つややかで濃い緑の葉っぱを茂らせ、真っ赤な花を次から次へと咲き続ける椿、私達を楽しませてくれます。その椿の花はパワフルで大好きとよく聞きます。真紅の優勝旗を思い浮かべるほど、あの真っ赤さは椿の花そのもの、強ささえ感じますね。

で、椿は少年野球のチーム名になったり、会社名になったり、お化粧の商品名になったり、いろいろと使われております。それに、どこことなく古風で、地味ながらも大胆にアピールしています。

先ごろ亡くなられ、国民栄誉賞に輝いた遠藤実さんの楽曲に「雪椿」があります。新潟地震があった折、NHK 紅白では歌謡界の小林幸子さんが「辛いですけど元気になって」と「雪椿」を大トリで歌い地震の被害にあった人々にエールを送りました。いつものド派手と言われる衣装をもやめ熱唱した光景は記憶にいつまでも残っています。

それはそうと、椿と同じように日の丸も真っ赤ですね。日の丸がオリンピックなどで揚げられると究極の感激。その喜びは日本人の一人ひとりをも結びつけ、民族心を高揚させてくれます。

と、ということで、お外に出て冬の元気ものを見つけてみましょう。きっと、真っ赤な椿のお花のところに立ち止まり楽しいおしゃべりが弾むことでしょう。そして、今よりもっと元気になるでしょう。自然との語らいこそ生きることを教えてくれるからです。

それはともかく、椿は冬枯れるとき、どんな役割をしているのでしょうか。

1月 つばき 詞 /五十野惇

♪ つばきの はなには みつが たくさん あるよ
ふゆの げんき もの はなに とまれ
♪ ひよどり とまった
みつを たくさん たべろ
ふゆの げんき もの おつぎは だーれ

学生のプログコメントから

私は山茶花と椿を間違えてしまいました。山茶花の花びらは、ばらばらはらはらと散るけど、椿の花は、花ごと重たげにぼとりと落ちるのですね。それと、つばきは冬に咲く花とは知りませんでした。綺麗で蜜を持つだけではなく、冬の鳥たちにも元気を与え寒さにも負けない元気で強い花なのだと感じました。本当に元気をくれるお花ですね。

つばきをみると冬が来たなと感じます。そして蜜がたくさんあることを初めて知りました。

私は椿の花が大好きです☆日本らしいお花だと思います。鳥や風に助けられて、花たちも子孫を残しているのですね。

つばきの花に蜜があることは知りませんでした。この歌を子どもたちと歌ったらとても楽しいと思いました。

つばきはきれいで好きです。小さくてかわいくて、いい香りだし好きです。蜜おいしいって書いてあるから、こどもたちが吸いそう。

冬の寒いところでも元気に咲いている様子が想像できてよかったです。子どもたちも寒くてもつばきみたいに元気に走り回ったりしてほしいと思いました。

花は、普通冬場に咲かないのイメージなので、冬でも元気ものと書いてあるのをみて、強い花だと思いました。冬なのに元気に花を咲かせていて私も見習って冬でも元気にすごしたいと思いました。

冬にこのようなきれいな花が咲いていて、その中に蜜が入っているというのが、よくわかる歌で良いと思いました。自分小さいころ椿は好きだったので、この歌は良いと思いました。

つばきのみつはシャンプーに使われていたりして、今すごく注目されてますね。冬のつばきは他の花と比べてすごく強いなと思います。雪が降るくらい寒い日でも真っ赤な椿の花を咲かせるのですごいなと思いました。



1月 あおき 詞 /五十野惇

- ★ いちねんじゅう あおいよ あおき
- ★ あかい みが なる ふゆに ね あおき

学生のブログコメントから

冬でも葉っぱが青い木、よく見かけます。あおきって言うんですね！そして木にもオスとメスがあるということを、私ははじめて知りました。子どもと一緒に散歩にいったときに、何気なく「この木は一年中青い葉っぱが生えているから、あおきって言うんだよ。女の子の木にだけ、赤い実がつくんだ。」と教えてあげると、子どもたちは、とっても驚くと思います。また男の子は、その赤い実を採って、女の子にプレゼントすると、女の子はとっても喜ぶかもしれません。

冬になると他の木は枯れてしまつて葉っぱも全部落ちてしまつたりしてしましますが、あおきはずっと葉っぱを付けているので強い木だと思いました。また、木にもメスとオスがいることを知りました。

普通の木は、あきになると緑色の葉っぱが赤や黄色に変わり、冬になると枯れてしまうけど、あおきは一年中青いと知って驚きました。雪景色の中に青々とした葉っぱが映えて綺麗だと思います。

1月 ふゆの ことり 詞 /五十野惇

- ★ その としに うまれた ことりを わかどり と いう
わかどりは、 さむい ふゆ、10羽の うち 8羽が しぬ。
どうしてか と いうと、ふゆ、 えさが ないから。
- ★ ことりは、あき いねを くいあらず わるい ことり。
だけれど、 はると なつ わるい こんちゅうを たべる。
だから、 えさが ない ふゆ、ことりに えさを あげる。

学生のプログコメントから

このお話は、4歳から小学校2年生くらいの子どもたちに聞かせてあげたいと思います。とても残酷で、切ないお話なので、小さい子は理解しにくいのではないかと考えました。1番のお話では、実際に、10羽の鳥を画用紙などで作り、1度子どもたちに見せた後、そのうち8羽の鳥を、子どもたちの前から消し、「寒い冬には、小鳥さんたちには、十分にえさがなければ、生まれたばかりの小鳥さんの多くは、死んでしまうんだよ。」と話し、2番を読みます。

2番を読んだ後、「小鳥さんは、秋は私たちを困らせてしまうけれど、春と夏には、私たちを助けてくれるんだね。小鳥さんたちのおかげで私たちは、美味しいお米を食べることができるんだよ。だから、寒い冬には、小鳥さんたちに恩返ししなきゃね。」と話したいです。子どもたちには、人間も小鳥（あるいは動物）も、助け合いながら生きていくことが大切であるということをなんとなくでもいいので、理解してほしいと思います。

鳥が生きていく世界を忠実に表現した歌だと思います。あまり楽しい気分になれる歌ではありませんが、自然界の厳しさを子どもたちに教えてあげられる歌ですね。

この歌は皆で歌うと言うよりは、劇などにして、先生が表現してあげると、子どもに伝わりやすいと思います。少し暗くなってしまうとは思いますが、お遊戯会などで先生が劇をするといいと思います。

よく米をことりにたべられて悩んでいる農家の人がありますがことりも一生懸命生きていることを知ると何にも言えなくなっていました。みんな人間も鳥も生きていくために必死なんだということがわかりました。

この詩を聞くと気分が落ちてしまう気がします。ことりも一生懸命生きているんだということがこの詩を通じて理解して欲しいなと思いました。紙芝居にして子どもたちに聞かせまず自分の感想を伝え子どもたちの感想を聞きたいと思いました。

この歌は、少し悲しい歌だなと思いました。イネの害鳥と言われてるけど、イネを食い荒らす虫を食べていることや、ふゆはえさがいないため死んでしまうなど、かわいそうだと思います。だから、こういうことを子供たちに教えてあげて、動物に対してやさしくなっ
てほしいと思いました。

この詩を読んで少し悲しい気持ちになりました。同時に、ことりも一生懸命に生きていることがわかりました。また、動物を大切にしようという気持ちを子どもに教えてあげるのに適していると考えました。



1月 しじゅうから

詞 /五十野惇

- ★ つぴーつぴー ちっじゅくじゅく
しじゅうから つぴーつぴー ちっじゅくじゅく
けむし わるい むし どこに いる
- ★ おなか すいた あー おなか すいた
しじゅうから おなか すいた あー おなか すいた
けむし わるい むし つかまえろ

学生のプログコメントから

この歌で楽器を使ったリズム遊びをすると面白いと思います。「つぴー つぴー」は笛、「ちっじゅくじゅく」はタンバリンと役割を決め、歌いながら、リズムを刻むという遊びを
するといいとおもいます。子どもたちは楽器が好きなので、楽しみながら、リズムが身につ
くと思います。

この鳥はいろんな鳴き声を持っていることがわかりました。そして悪い虫を食べてくれる
とわかってすごい役に立つ鳥だなとおもいました。

いつかに高尾山へ行ったとき、土産もの屋さんにシジュウカラのグッズがいくつかあったことを思い出しました。毛虫を食べてくれるなんて、なんていい鳥さんなんだ！はじめて知りました。いつか見れたらいいなあ。

わたしもしじゅうからという鳥はみたことがありません。なので、見てみたいです。でも、この歌を見るととてもわかりやすいと思いました。(ツピー)とか音がかawaiiので楽器を使って音を出したらかawaiiと思いました。あと、(あーお腹すいた)というところもみんなでおなかすいたというポーズをしたらいいと思いました。

いろいろな鳥の鳴き声があることがわかりました。悪い虫も食べてくれるんだなあ・・・すごい、いい鳥だなあと思いました。いろいろな演奏をしながらやれば子供たちにも、とってもいいと思いました。

「つピーつピー」のパートと「ちっじゅくじゅく」のパートと2つのグループに分けてなきあう様にしたら楽しいと思いました。



1月 ひよどり 詞 /五十野惇

- ★ ひーよ ひーよ ひよどり ひよどり
あたまの さきを ふくらませて さ
- ★ ひーよ ひーよ ひよどり ひよどり
あっちだ こっちだ いたずら ないか

学生のプログコメントから

とても元気が沸いてくる歌ですね！！これは運動会などに1歳や2歳の子ども達に校庭を音楽にあわせてこの歌を歌いぴょんぴょんとはねるように踊ればとてもかわいらしい競技になると思います。

ピーヨピーヨと鳴く声がとても可愛らしい鳥だと思いました。他の鳥のなきまねをすることもできるのですごい鳥だとわかりました。

泣き声がとてもかわいいと思いました。ピアノをひいて子供たちを歩かせて、途中で音を流すのをやめた時にピョンピョンはねさせたらたのしいかなと思いました。

まず鳴き声がとてもかわいいと思いました。そしていたずらも！小さい子はよくいたずらをして隠れているので、そんな子と呼ぶのに使うのもかわいいかもしれませんね。

ひよどりと、ピョピョをかけて、ぴよどりと表現してところがかわいいと思いました。子供たちにヒヨドリの名前を教えてあげるときにこの歌を歌いながら教えてあげると、楽しく覚えられると思いました。

ひよどりの役とひよどりを探す役とで分けてひよどり役の人は隠れて「びーよ　びーよ」と鳴き、その声を頼りにひよどりを役の人を探す。かくれんぼのように遊ぶと面白いと思いました。

『ピーヨ　ピーヨ』がとても印象的だったので、この部分を両手をバタバタさせて歌うと良いなと思いました。また、『あっちだ　こっちだ』というところも顔を右左に動かしながらやれば良いなと思いました。

「ピーヨ　ピーヨ」のところは掛け合いみたいにして、「あっちだ　こっちだ」のところを顔を左右に動かしたりしたら楽しく歌えると思います。

びーよ　びーよぴよどり　ひよどりっていう部分がとても気に入りました。可愛らしくて手をぱたぱたさせて、歌と一緒に楽しめそうだなと思いました。

1月 やつで

詞 /五十野惇



- ★　ぐー　ちょき　ぱー
　　ぱーぱー　だれの　ての　ひら
　　やつでの　はっぱ　「ええっ？」
　　いや　いや　てんぐの　てに　にてる　よ
- ★　ぱー　なし　ぱー
　　だーれ？
　　ぱーの　てを　だしたのは
　　てんぐの　てー？　「ええっ？」
　　いや　いや　こりゃ　やつでの　はっぱ
　　こんにちは
　　こんにちは

学生のプログコメントから

子供とじゃんけんをする時にやつでも葉っぱやイチョウの葉っぱを後ろに隠してじゃんけんするのが楽しそう。絶対小さい子は葉っぱの大きさに驚くのではないのでしょうか。

私は、やつでというはっぱを知りませんでした。でも、この歌をよんで、すごくわかりやすいと思いました。じゃんけんの手で表現してあったので、とても面白いと思いました。

パピーちゃんの顔より大きいやつでののはっぱ。頭につけててとってもかわいいです☆『てんぐのて』という表現は、それほど大きいものをさしているのだとかんじました。形も人間の手ににているんですね。一度どんなものか実際に見たり触ったりしてみたいなあ♪子どもたちにもやつでののはっぱを見せてあげたら、きっと興味をもってくれるとおもいます☆

"ぐー"、"ちょき"、"ぱー"の所を子ども達が手を動かして、振り付けみたいにしたり…『ぐー　ちょき　ぱーぱーぱー』は、みんなで言って、子ども達を2つのグループにわけて『だれの　ての　ひら』の所と『やつでの　はっぱ』と『ええっ？いや　いや　てんぐの　て

に にてる よ』を交互のグループで言ってみるとおもしろいと思いました。

やつでの葉っぱは大きいですね。子供達もあまり見たことないと思います。やつでの葉っぱでおめんを作ったりしたらみんなで楽しくできると思うし大きさを実感できると思います。

ヤツデはとても大きい葉で自分の手と比べてみると楽しいと思います。てんぐの手にたとえたのがとてもわかりやすくいいなと思いました。

やつでの葉っぱを「ぐー ちょき ぱー」の「ぱー」と「てんぐの て」であらわすことによって、やつでの葉っぱがどのような形をしているのか、などが子どもたちにとってわかりやすいのではないかと思った。 みんなで、じゃんけんなどをしながらこのお話をやったら楽しいのではないかと思いました。

自分たちの手よりも大きい手にびっくりしそうですね。やつでを使って工作やじゃんけんなど遊ぶことができたなら楽しいと思いました。また子供たちにやつでを使った遊びを考案してもらうこともいいと思いました。



1月 かわらひわ

詞 /五十野惇

- ★ オリーブいろ と いうのは ね
きいろと みどりを いしょにした いろ ね
かわらひわ と いう とりが オリーブいろ
- ★ ころ ころ ぎーん
ころ ころ ぎーん と なく
ここは ぼくの ところ ここは ぼくの ところ
と さえずる よ

学生のプログコメントから

このお話は、‘オリーブいろ’という色がどのような色からなるのかということ、‘かわらひわ’というとりを例に挙げることで、より分かりやすく説明していると思います。子どもたちは、‘オリーブいろ’と、‘かわらひわ’を同時に覚えることができ、一石二鳥だなあと思いました。

子どもたちに、2色の絵の具を混ぜ合わせて作った色で、何か絵を描いてもらいたいです。「この色とこの色を混ぜると、こんな色になるんだあ！」という発見をすることで、何かを発見したときの喜びを味合わせてあげたいと思います。また、2番ではかわらひわの鳴き声についてのお話なので、子どもたちは、さらに、かわらひわのことを学ぶことができると思います。

オリーブ色をしている鳥というのを聞いて可愛い鳥だとおもいました。鳴き方もおもしろいので普段鳥の声を聞いてみたいと思いました。

この詩を読むことにより、オリーブいろとはきいろとみどりをまぜた色だということがわかります。絵の具などを使って子どもたちに説明してあげるといいと思います。また、ころころぎーんという鳴き声のところをカスタネットやトライアングルなどを使って皆で表現してみても面白いと思いました。

黄色と緑を合わせるとオリーブ色になるなんて知りませんでした。子どもたちのきっと驚くと思います。

絵の具を混ぜて子供たちの手でオリーブ色を作ってほしいと思いました。そこで不思議だと思った気持ちがなにかのきっかけになったらいいと思います。



1月 きじばと

詞 /五十野惇

★ デデッポッポー

きいた こと あるかい

きじばとが さびしくって ないて いるんじゃ ないよ

ほら！ たのしそう

パパどり ママどり あかちゃんどり そろった

★ ビジョンミルクって しって いるかい

きじばとが のどおくから だす しろい ミルク

ほら！ おいしそう

ママどり あかちゃんどりに キスして のませた

学生のブログコメントから

おはなしをよんでキジハトは子育てのときにのどからミルクを出すことを知りびっくりしました。この鳥はほんとにすごいとりなんだなと思いました。この詩を通じて親子愛が伝わってきました。さびしくて泣いているのではないのだと初めて知りました。

この詩を読んで、きじばとがデデッポッポーと鳴くのをはじめて知りました。また、さびしくて鳴いているのではないということがわかりました。この詩を読むことにより親子の愛を子どもに教えてあげられたらいいと思いました。楽しく読んであげたいです。

初めてののどの奥からミルクがでて子供に与えることを知りました。親子愛がすごく伝わるとても暖かい歌だなと思いました。